



2020年12月 7日
第71号

JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集 情宣担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



新型コロナウイルスの感染拡大や市場の変化の影響により 早期・希望退職を募る企業が増えています！

早期・希望退職を募ると発表した上場企業が10月28日時点で昨年度の2倍の70社になったという報道がありました。募集企業の7割が直近決算の最終損益が赤字ということです。利益が出ない中、少しでも支出を減らしたいと考えることは、企業存続のために自然なことです。しかし、働く私たちから見れば、雇用の危機と捉えることもでき、良いことばかりとも言えません。

主な企業の動き

- ホンダ、21年4月から早期退職優遇制度 55歳以上 年齢構成や人員配置の適正化 (2020年12月3日)
- リケン、希望退職を募集 45歳以上で正社員の約150人 人員整理で効率化を急ぐ (2020年11月11日)
- KNT-CTホールディングス(近ツー)、コストの削減へ希望退職の募集や新規採用の抑制などで24年度末までに約7千人の社員を約3分の2に圧縮 (2020年11月11日)
- 三菱製鋼、希望退職100人程度募集 コロナ禍で業績悪化 (2020年11月11日)
- 紳士服最大手の青山商事、希望退職400人募集 80店閉店へ (2020年11月10日)
- LIXILグループ、希望退職1200人を募集 (2020年10月30日)
- ANA、希望退職を募集 賃金カットで年収3割減に (2020年10月8日)
- ワタベウェディング、希望退職120人程度リストラ策により早期の収益改善をはかる (2020年9月30日)
- 日本航空(JAL)などが出資する格安航空会社(LCC)のジェットスター・ジャパンがパイロットや客室乗務員を対象に希望退職を募集 (2020年9月16日)

JR東日本も2021年3月期は赤字の業績予想を出しています。赤字の危機は、私たちの雇用の危機でもあるのです。今一度、『雇用と職場を守るためのJR東労組緊急提言』を読み返しましょう。雇用を守るためには、労働組合が必要です。正しい情勢認識を行い、仲間と共にJR東労組に結集し、私たちの雇用を守っていきましょう。

雇用を守るためには組合員と共に歩む労働組合が必要だ！ 今こそ多くの仲間と共にJR東労組に結集しよう！